

## TSR - Press Release

### 業務ビジネス部門を対象とした調査結果を発表

「ITにもっとお金をかけるべき」という回答が87%を占め、業務ビジネス部門は積極的なIT投資を求めている

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『2014年版 サービスマネジメント市場のマーケティング分析 業務ビジネス部門編』を発刊し、業務ビジネス部門を対象とした調査結果を発表致しました。

※サービスマネジメントとは、情報システムの運用管理を行う運用管理ソフトウェアと、継続的改善やサービス思考を実現するためソフトウェア、サービスを指しています。

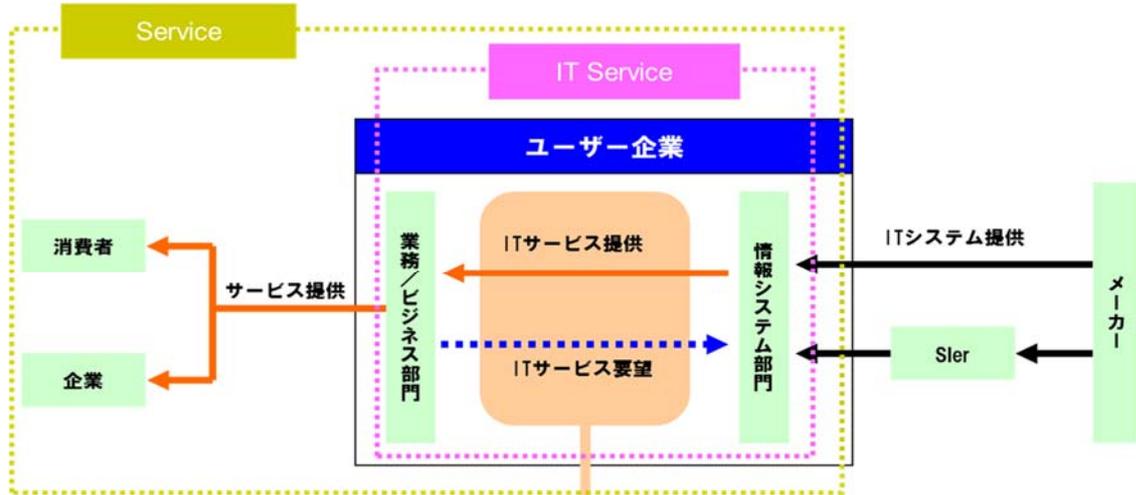
本調査では、IT サービスを提供する情報システム部門ではなく、IT サービスを利用するエンドユーザーである業務ビジネス部門の役職者を対象とした調査を行いました。どのようにすればエンドユーザー視点のサービス提供ができ、ビジネスに貢献することができるのかを明らかとすることを目的としています。

ITの世界ではITコストの削減がキーワードとなっている中で、今回の調査では、「ITにもっとお金をかけるべき」という回答が87%を占める結果となりました。業務ビジネス部門はまだIT化されていない業務をITサービス化することにより、業務の効率化やビジネスへの貢献を強く求めていることが分かりました。

企業の売上高に対してITコストは5%程度であり、そのITコストを10%削減することよりも、ITを活用することで売上直結する業務のコストを10%削減する方が、企業への貢献度も高く、魅力的です。ITのコスト削減を図るのではなく、ITサービスを活用したビジネスコストの削減を実現するためにITへと積極的に投資していくことが求められているのです。

一部大手企業の中には、その取組みを行おうとする企業が出てきています。

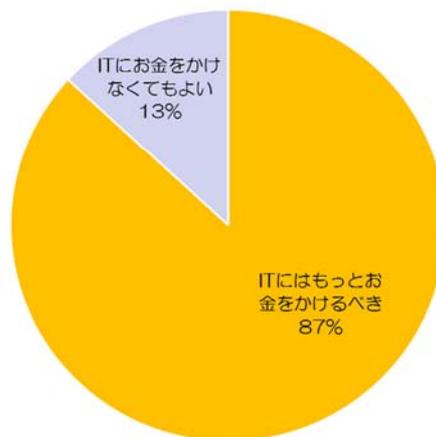
情報システム部門はITシステムの安定運用のみを意識していれば良いという現状から、ビジネスに貢献できる仕組みを提供するといった視点を持つことが求められています。



どのようなITサービスを提供すれば業務/ビジネス部門に貢献できるのか？

IT Service Managementの領域から脱却し、Service Managemetの領域へ進む必要がある

業務/ビジネス部門の調査  
ITにお金をかけてもいいのか？



【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 幕田範之 (makuta@t-s-r.co.jp) Tel: 03-3851-5651